

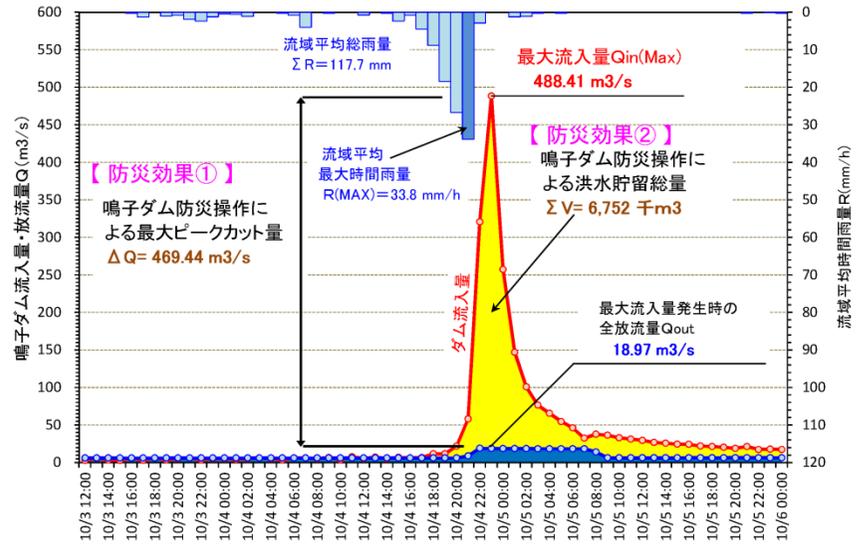
なるこ 鳴子ダムは「江合川河川公園」の浸水被害を防止しました

令和元年10月4日洪水
(台風18号による降雨)

【鳴子ダムは、周辺住民が利用する運動施設の浸水被害防止に努めました】

(注意事項) 今回発表されている観測値は速報値です。

- ◇台風18号の影響で鳴子ダム上流域では最大時間雨量34mm/h、総雨量178mmの豪雨が発生しました。
- ◇鳴子ダムは防災操作を実施し、荒雄地点※の河川水位を最大1.7m低減させる防災効果を発揮しました。
- ◇江合川河川公園内のテニスコート及びグランド施設の浸水被害を未然に防止しました。

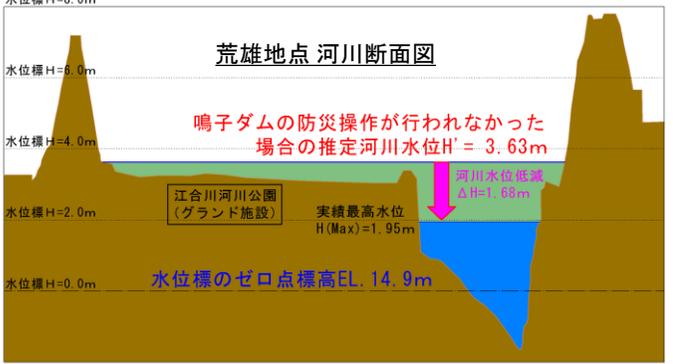
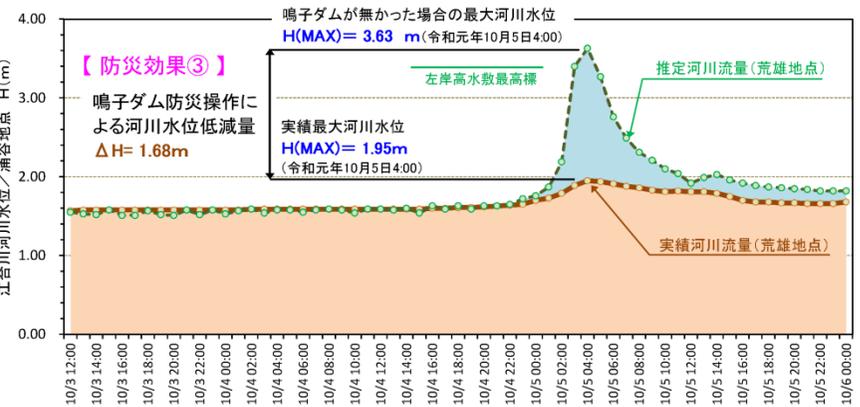


防災操作【治水の効果(洪水被害防止効果)】
 ダムへの最大流入量488.41m³/秒に対して放流量を18.97m³/秒とし、約470m³/秒の低減を図りました。これにより、「荒雄」地点※1で河川水位を約1.7m低減しました。**もし鳴子ダムが無かった場合、多くの市民により利用されている「江合川河川公園※2」内のテニスコートやグランド設備が、洪水流による土砂堆積等で使用出来ない状況となっていた可能性があります。**

出水の概要(10月4日～5日)

- ・総雨量：177.7 mm(流域平均)、
- ・最大時間雨量：33.8 mm/h(10月4日21時)
- ・ダム最大流入量：488.41 m³/秒(10月4日22時40分)

※1:「荒雄」水位観測地点;宮城県大崎市福沼地内にある江合川の河川水位を観測する施設です。
 ※2:江合川河川公園;宮城県大崎市浪尻字宮田地内(江合川左岸)にあり、市民が利用するテニスコートやグラウンド施設があります。



令和元年10月4日洪水 ハイドログラフと江合川(荒雄地点) 河川水位履歴図

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイトル)を複製したものである。【承認番号 平30東複、第23号】

※上図は、国土交通省『川の防災情報(荒雄地点河川断面)』を加工して作成しました。